議会だより いせん

第54号
発行 伊仙町議会
〒891-8293
大島郡伊仙町伊仙1842
事務局☎（0997）86-3111
編　集　議会広報編集委員会
印　刷　㈲奄美新生社印刷

平成29年4月29日　瀬田海海浜公園　海開き

平成２９年　第1回伊仙町議会臨時会（1月19日)全議案

議案番号	議事内容	備考
議案第１号	平成２８年度伊仙町一般会計補正予算（第８号）	原案可決
議案第２号	平成２８年度伊仙町上水道事業会計補正予算（第４号）	原案可決
議案第３号	平成２８年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」バス購入契約	原案可決

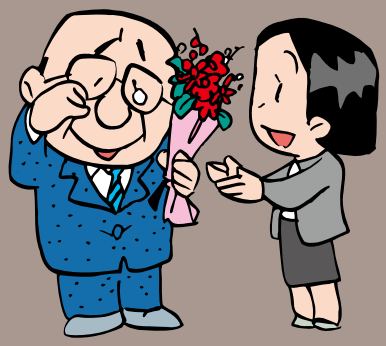
第1回　伊仙町議会定例会（3月7～２４日）全議案

諮問第１号	人権擁護委員候補の推薦につき意見を求めることについて	可　決
承認第１号	平成28年度伊仙町一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認	承　認
議案第４号	伊仙町辺地総合整備計画の一部変更	可　決
議案第５号	徳之島用水地区基幹水利施設等管理条例の制定	原案可決
議案第６号	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第７号	きばらでぇ伊仙応援基金条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第８号	伊仙町税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第９号	伊仙町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第１０号	伊仙町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第１１号	伊仙町暴力団排除条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第１２号	伊仙町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第１３号	平成28年度伊仙町一般会計補正予算（第10号）について	原案可決
議案第１４号	平成28年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第１５号	平成28年度伊仙町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第１６号	平成28年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第１７号	平成28年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第１８号	平成29年度伊仙町一般会計予算	原案可決
議案第１９号	平成29年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第２０号	平成29年度伊仙町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第２１号	平成29年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第２２号	平成29年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	原案可決
議案第２３号	平成29年度伊仙町簡易水道特別会計予算	原案可決
議案第２４号	平成29年度伊仙町上水道事業会計予算	原案可決
（追加議案）		
議案第２５号	徳之島交流ひろば「ほーらい館」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
以下余白		

全国町村議会議長会
鹿児島県町村議会議長会
功労者表彰

先日行われた平成29年第1回伊仙町議会定例会において、平成28年度全国町村議会議長会並びに鹿児島県町村議会議長会における自治功労者表彰者伝達式が伊仙町議会本会議場で行われました。

今回、町村議会議員として15年以上在職し功労のあった議員が対象であり、伊藤一弘議員（糸木名）、永岡良一議員（木之香）の2名が表彰されました。両議員ともに、平成14年2月3日の任期から今日まで連続して伊仙町議会議員として豊富な経験を生かし、あらゆる重責を担い、町内外において活躍されてきました。今後も伊仙町議会の一員として、リーダーシップを発揮されることを期待して、町民の皆様へのご報告にかえさせて頂きます。



平成29年 第1回伊仙町議会定例会において
平成29年度 伊仙町一般会計予算他6特別会計予算審査特別委員会

（一部抜粋 ※委員長報告につきましては、町ホームページ「会議録」をご確認下さい。）

去る3月7日の本会議において、当初予算審査特別委員会が設置され、「平成29年度伊仙町一般会計他6特別会計予算」を付託し、3月9日木曜日から3月14日火曜日までの6日間の審査期間を以て、集中審議致しました。そのなかで、3月9日に委員並びに議長を含む14名と事務局職員2名、執行部からは大久保町長が同行し、現地調査を行いましたので主な項目について報告いたします。

●1件目は、「農業支援センター運営費」について、施政方針でも述べられている「農業所得向上と持続的な農政改革をめざして」の実現に向けて旧徳之島農業高校跡地に整備される農業支援センターの現場を調査いたしました。地方創生加速化交付金を活用し3千万円の予算で整備しており、床面積は450㎡、事務室をはじめ30人程度の大会議室、12名程度の小会議室、土壌分析室、休憩室、シャワー室、防水工事等を行い、平成29年度は3千万円の予算でビニールハウスを3棟整備する計画との経済課長並びに担当職員からの説明を受けました。

運営については指導員、事務員の3名体制との事ですが、まだ人材の確保は出来ていないとの事。また、研修生についても募集中との事であり、町民に周知し、開設時に間に合わせるよう早急に人員を確保するよう担当課へ要望しました。併せて、義名山にある徳之島高校農地（県有地）についても現在利用されていないので、徳之島高校と協議し借り受けるか払下げを受け利用するよう要望しました。また、平成28年度農業生産額はサトウキビが15億6，222万円、畜産が17億1，072万円、馬鈴薯が18億3，260万円の計51億554万円となり、目標の50億円達成見込みとの事でありました。農業支援センターは、「伊仙町農業振興計画」の人づくり・環境づくり・情報・技術の向上を目指す上で重要な施設であり農業生産額50億円を継続するために必要な後継者育成や農家所得向上に大きく寄与するものと期待しておりますので有効活用されますよう要望しました。

農業支援センター（旧徳之島農業高校跡地）

●次に、「企業版ふるさと納税事業費」について、本年1月7日に開所した「いせん寺子屋」について調査いたしました。未来創生課長及び担当者から、旧徳之島農業高校跡地4階建校舎において創生寄付金活用事業など3事業を活用し合計特殊出生率日本一の伊仙町を中心に徳之島で育つ元気な子供たちが、その能力と可能性をさらに伸ばし将来的に徳之島・日本・世界で活躍できる人材を育てるため学習支援をしていく事を目標に小学2年生から高校3年生を対象に第2土曜日を除く土曜日の午前中に実施しており徳之島の伝統文化自然を学ぶ「徳之島学」や東大生による受験生へのネット授業などを実施しているとの説明を受けました。今後、この事業をさらに発展させ図書館併設の生涯学習センター建設につながり、子供たちの教育環境の向上に寄与するものと期待しておりますので、多くの受講生が参加できるよう町民及び島民に広く周知し人材育成支援の充実を要望しました。

寺子屋（授業風景の様子）

●次に、「特定地区公園整備事業費」について、調査いたしました。担当課長より、義名山総合運動公園について平成22年度から34年度までの年次計画について説明を受けました。平成29年度については、ＬＥＤナイター照明への更新を２基予定しているとの事でありました。現在の改修予定の照明もまだ使えるとの事でありましたので、他の施設の照明に再利用するよう要望しました。

平成30年度以降は運動球技広場外周擁壁、造成、排水、バックネット、管理棟、グラウンドゴルフ場、ゲートボール場等順次整備する計画との事ですが無駄の無いよう整備を進めるとともに運動球技広場横の谷間及び体育館と泉芳朗館の間にある土地の有効活用と、県補助等による補助率の高い事業を選定し事業を進めるよう要望しました。

義名山総合運動公園

●次に、「青年就農給付金事業費」について、調査を行いました。東面縄の義山功造氏の農地において、経済課長及び担当者、義山功造氏から説明を受けました。

給付金受給者は現在７名おり平成29年度においては新たに３名選定し計10名となり最長５年間受給できるとの説明でありました。義山功造氏の農業経営内容はサトウキビを中心として、馬鈴薯、にんにくを栽培しているとの事でありました。今後、この10名の受給者が営農研修センターを活用するとともに、定期的な意見交換ができれば互いに切磋琢磨し所得や技術の向上につながると思われるので交流の場を作るよう要望しました。

義山氏の圃場

●次に、「公営住宅建設事業費」における東伊仙東・東伊仙西団地建設計画、平成28年度事業の喜念団地、定住促進住宅の阿三・阿権団地の建設現場を調査いたしました。建設課課長及び担当職員より、新年度建設予定の東伊仙東に１棟３戸、東伊仙西に２階建て１棟６戸建設予定で、用地買収、設計、建設工事を行い来年３月末の入居を予定しているとの説明がありました。東伊仙東については、取付道路及び排水路については早急に近隣地権者と打ち合わせるよう要望しました。

「定住促進住宅　阿権団地」につきましては、４棟４戸が建設され島外１世帯、町外３世帯、21名の入居が決まり、その内子供が13名との事であり、「公営住宅　喜念団地」につきましては、２棟６戸が建設され、町外１世帯、町内５世帯、27人の入居が決まり、その内子供が17名との説明でありました。どの住宅も近代的な設計で便利な設備がなされており入居者が快適に生活できるもので、両校区の振興に寄与するものと考えます。今後とも、財政面からも、他の事業との調整を行い、住宅建設を進められますよう要望しました。

建設中の阿権団地

喜念団地

平成29年 第1回定例会 一般質問

平 博人議員

伊仙町にも県営住宅を！

問 県営住宅建設誘致について。伊仙町では定住促進住宅事業において、各集落に住宅建設を行い、町民の皆様には大変喜ばれております。また地方創生を推進していく中で人口増も大いに考えられる状況であり、今後もリース事業を活用し、住宅建設を行っていくとの事だが、町としての財政負担は避けて通れない課題である。このような事を鑑みた上で、伊仙町に県営住宅を建設誘致する考えはないのか問う。

今後、県と協議していく

答（町長）県営住宅建設に関し、県は消極的でありますが、その中でこの地方創生の最大の突破口となるのは町村であり、中でも集落の存続であります。これは、小学校の存続等を前提にした場合に、以前より不公平感を感じていたのは、戦後、県営住宅が県内各地において積極的に建設された際に、県営住宅は県の職員のための、住宅であり、例えば県の出張所がある地域に、県営住宅を作っていくとすると、当然離島においては港町に建設するという考え方が中心になっていました。しかし、家賃等の問題で、県は十数年前に県営住宅建設はしないとの方針を示しましたが、時代が大きく変化していく中で、まさに従来のように、鹿児島市への一極集中、または各離島においても、港町に集中するという考え方には限界があり、今後どのように解決していくか考慮した場合に、人口を分析していく以外にはないと考えます。県営住宅も50年前の固まった政策を見直し、今後、鹿児島県が発展していくためにも、鹿児島市から人を各自治体へ分散するよう県営住宅を各地区に作っていくという事が、県にとっても非常に画期的な政策だという事を県知事、副知事、担当者等にも説明し、強く要望活動を推進していきたいと思います。

伊仙町唯一の総合運動公園の今後

問 義名山総合運動公園の整備、管理について。現在、同運動公園のグラウンド整備、体育館の管理、公園の整備等について町民の皆様より、たくさんのご意見、ご要望を戴いております。今後、町として我が町唯一の総合公園を、町民の皆様、または他町の皆様にも、より一層有効に活用していただく為にも、整備していく必要があると思うが、町としての考えを問う。

条例改正に伴い使用料金を改正

答（社会教育課長）同運動公園並びに、グラウンド整備に関して、義名山公園長寿命化計画において、平成22年度より5カ年間の計画で、体育館の増築、相撲場の新設工事等を行いました。今後新たに計画を見直し、グラウンドの整備、公園の遊具や緑地帯の整備を計画していきたいと思います。また、体育館は伊仙町の体育施設の設置及び管理に関する条例及び同条例規則に沿って管理を行っており、使用料については旧徳之島農業高校の体育施設、体育館、武道館、グラウンド等含め条例を改正し、使用料を変更いたしました。

義名山総合運動公園

スポーツ少年団の子ども達には無料開放を

問 平成29年度から条例を改正し、使用料を徴収するという事だが、現在、伊仙町のスポーツ少年団の子ども達は県大会や全国大会等でも非常に活躍されています。この子ども達から使用料を徴収するという事は、「子宝・子育ての町」として逆行していると思うが、今後、各団体の関係者や保護者等と再度協議していく考えはないのか問う。

今後も各団体と協議

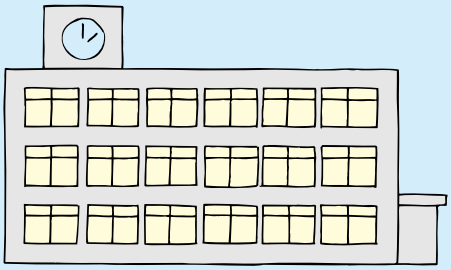
答 （社会教育課長）我々の業務といたしましては、条例規則等を遵守するという条項の中で進めているわけですが、今後各スポーツ推進委員の方々、また体協関係者の方々、各種団体の方々と再度協議していきたいと思います。

子ども達の安全性を考慮して

問 伊仙小学校付近の街灯設置について、現在、伊仙小学校付近に街灯が少なく、日が落ちるにつれて非常に危険であると聞いております。部活動をしている子ども達も多く、最近は不審者情報等もあります。また、ほーらい館も隣接する、町の中心地でもある事から外観等も考慮した上で、早急に対応する必要があると思うが、町としての考えを問う。

学校等と協議し今後対応

答 （教育委員会総務課長）伊仙小学校の体育館並びに付属幼稚園から続く校門にかけては街灯が無く、夜間は薄暗い状態であります。今後、伊仙小敷地内の照明に関しましては学校等と協議し、対応を考えてまいりたいと思います。



美山　保議員

古里海岸の砂の流出について

問 砂の流出について、平成27年9月議会でも、一般質問を致しましたが、その後どのような対応がなされたのか問う。また、古里海岸は、毎年台風の度ごとに東面縄の海岸や面縄港の泊地に砂が運ばれている。溜まっている土砂を浚渫船（しゅんせせん）を持ってきて砂を除去した事もあります。集落からの強い要望もあり、今後古里集落を津波や災害から守る為にも、砂流出防止対策を県や国へ要望することはできないか問う。

古里集落の海岸の砂の流出防止について県に要望

答 （町長）古里海岸が台風の度に砂が運ばれて突堤の基礎部分がむき出しになっています。将来的な事も含めて県へ要望していきたいと思っております。

（建設課長）平成27年9月議会の質問後に、県担当者とも協議を行なっております。補助事業申請にあたり、砂の流出前後の写真等、既存資料があれば、事業申請の添付資料として有効である旨の指導があったため、防波堤施工当時の資料調査、地元有識者への写真等の有無の確認調査及び面縄小学校の所蔵している資料の調査を行なっております。現時点で、有効な資料等は入手できておりませんが、引き続き既存資料の調査を行ないつつ、県との協議を行い、補助事業として、申請できるよう努めていきます。なお、防災・安全社会資本整備交付金を活用し、面縄港海岸保全施設長寿命化計画を策定中であり、古里海岸突堤の基礎部分がむき出しになっている箇所も海岸保全区域内にあり、補修計画に盛り込まれる予定となっております。

砂の流出防止のみの、補助事業は厳しいと思われ、長寿命化計画に基づいた海岸保全施設の補修工事と絡めた補助事業を計画的に進めていく必要があると考えております。

古里海岸の砂の流出

南海トラフ地震が発生した場合の防災について

問 南海トラフ地震が発生した場合、一番先に津波の影響を受けるのが、古里集落、喜念集落、鹿浦集落だと思われるが、津波対策は取られているのか。また、障害のある方や、ひとり暮らしの高齢者対応、避難場所の確保及び整備の対応はできているのか問う。

緊急避難場所について

答 （総務課長）平成27年2月に、伊仙町防災会議を開きましたが、その中で、津波対策における避難予定場所ということで、海抜10メートル以下に住家や施設または事業所を有する地域において、海抜15メートル以上に立地する建物及び場所ということで、伊仙町において10カ所を指定してございます。この場所として、喜念、東面縄、古里、西伊仙西、阿三、鹿浦、西犬田布地区がこの緊急避難場所の設定地区になっております。また、障害のある方、ひとり暮らしの高齢者に対応する避難場所でございますが、一時的な避難所として下検福の生活館、上面縄の生活館を予定しております。長期的な避難場所としましては、ほーらい館や福祉避難所等での対応となります。

面縄中学校の渡り廊下について

問 平成28年第1回定例会でも質問を行ったが、渡り廊下について、その後どのように対応されたのか再度質問致します。面縄中学校は雨が降ると体育館が離れている事から、授業や各行事、式典などを行う度、ぬかるみの校庭を傘をさして体育館へ行かなければなりません。このような事をいつまでも続けることはできないので、渡り廊下を中学校PTAや地域住民、また面縄中学校70周年記念準備委員会での強い要望もあり、早急に設置して頂くことはできないか問う。

PTAや関係者の協力を得てできる方向性を検討していく

答 （教育委員会総務課長）昨年度の一般質問を受けまして、面縄中学校へ何度か足を運び、解決策はないか、検討を重ねてまいりました。現在、校舎から体育館におきまして、幅1メートルのコンクリートの渡り廊下が設置されていますが、屋根は、かけられてございません。屋根をかけた場合、体育、スポーツ活動において支障が生じるのではないかと思われる点がございます。

学校PTAや70周年記念準備委員会からの要望

問 校舎と体育館が100メートルも離れていることから教育環境的に、いろいろな授業、行事、学校の生徒の授業や式典に傘をさしていかなければならないという事で70周年記念の準備委員会でも強い要望がありますので事業計画にのせていただきたい。

答 （教育委員会総務課長）改めて危険性を回避し、かつ予算をかけずに屋根をかける方法で、PTAや関係者の協力をいただき、できる方向を検討してまいりたいと思います。

公共事業（工事）の執行について

問 第4回定例議会（12月）において公平、公正、平等に行っているとの答弁ではあったが、まだ不十分な点があり再度調査して答弁するとのことでしたので再度問う。

①特産品製造販売プロジェクト事業（黒糖工場）について。②企業誘致促進事業（貸工場日本マルコ株式会社）について。③社会資本整備総合交付金事業喜念団地定住促進住宅事業による住宅建設について。この3つの事業について地元業者が外されて、他町の業者が急に入れ替えられている。なぜこういう不自然なことがあるのか、しかも島外業者（竹山建設）が落札までしている。その理由は何だったのか。

美島　盛秀議員

答 （副町長）工事の種類や規模を考慮した上で、町内業者で対応が難しい時は、島外業者が指名に入る事も間々あり、契約担当、決定権は町長であり決定の段階で変わるということは間々あることであります。

（町長）最終決定権は町長であり、指名委員会の中で決定して、その指名委員会の前後にいろいろ、またちょっと打ち合わせをしたりする事も、まれにあるわけですから、その中での、このような変更ではなかったかと思っております。その時の事情、そしていろんな、もろもろの事情があるわけですから、その中で決裁をしたりする事があるということであります。

直売所「百菜」の運営状況について

問 平成26年度、27年度の決算が行われず、28年度になってから決算が行われ、1億5千万円もの売上げがありながら運営がうまくい

っていないのはなぜか。

答 （経済課長）今まで毎月の収支が出ずに数字的に状況が分からない状態という事で、今回2月より経理専門の人員を補充して努力しているところです。

問 経理専門の人の賃金が13万5千円、3月分は未定との事ですが、これこそ予算の無駄遣いではないか。職員を派遣して3月中で整理すると言いながら、その職員は異動させるなど、本当にいい加減な予算執行である。町長の見解を求める。

答 （町長）百菜の経理を明らかにする事や、総会を迅速に開いて、方向性を決めていく事が大事な問題であり経理専門の人を入れて正確な決算書を作成しなければ、一歩前に進まないので、今回は緊急的な雇用でございます。

問 累積赤字の2千5百万円について今後どうするのか。

答 （経済課長）この件に関して今、百菜が各部門の問題点を把握し、これを少しでも黒字にしていくような形で意見交換しながら、百菜の従業員内で話し合いをしながら、前向きに検討しているところでございます。この中には、町の貸付金5百万円、ほーらい館への電気料金約3百万円も含んでいます。

直売所「百菜」

堆肥センターについて

問 職員による使い込み金の回収はできているのか。

答 （町長）10年近くになると思いますが、この問題がなかなか解決しないという事で、多大な迷惑をおかけしております。心からお詫び申し上げたいと思います。

（経済課長）平成26年3月以降入金がありません。29年2月、3月に催促状を送付しましたが、その後の振込は確認できていません。

町長の出張旅費について

問 条例14条第2項、第3項に旅費の精算と、過払金の返納について、規約にうたわれているが、町長は鹿児島市内に自宅を所有しており、自宅に泊まった時の宿泊代市内の7千円については、過払金として返納すべきではないか。

答 （副町長）伊仙町の旅費規程につきましてはすべて概算払いで、計画によって支給する事となっております。旅行中、移動等があったりすると、調整する場合があり、宿泊料の返納という問題でなく、規則にのっとって対応しなければならないというのが現実でございます。

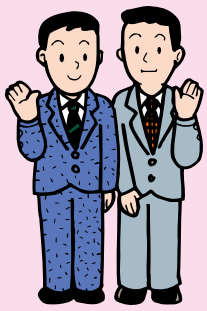
町長の資産公開及び後援会について

問 町長の資産公開条例において、10項目の報告義務がありますが、報告書の様式に従って提出がなされていなかった理由。今後、様式に従って提出できるのか、また後援活動や政治献金等を含めての資産公開をしたのか問う。

答 （町長）後援会活動及び政治献金につきましては、私の資産は限られている状況です。

（総務課長）町長の資産公開条例、その規則にのっとって公開いたしております。恐らく控除後の金額が、830万円ということです。

（町長）政治資金は、私は受けておりません。



次回の定例会は6月です！！

次回の定例会（第2回）は6月13日(火)からを予定しています。

ネット配信も行なっておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。

手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入り口の受付名簿に、住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

電話番号86－3111（内線16番）

どうなった？ あの一般質問の行方は…

昨年度に引き続き平成２７年に行われた定例会で通告された一般質問を追跡調査し掲載して参ります。

第４回定例会　（福留議員の一般質問）

１１月２５日に町内５カ所のへき地保育所を町長はじめ担当課長などと調査したが，そのなかで保育士からの要望として挙がった「保育士の待遇改善」と「保育サービスの向上」に向けて，町としてどのように認識され，また改善策を講じていくのか問う。

（回答：町民生活課長）

７年ほど前に，徳之島地区の保育所連合協議会を離脱していましたが，子どもたちに対し保育指導の低下を懸念し，平成２７年度から，再度協議会に加入をしました。

以前から，保育士より様々な要望がありましたが，それに応えられていないのが現状でしたが，２８年度から，一つ一つ改善していきたいと思います。

（その後の取組み）

定例会後，１２月１９日（土）に保護者説明会を開き，次年度に向けた説明を行ないました。

保育士の処遇改善として，週休2日制を導入し，１園３人体制で保育の充実が図られ，質の向上としては，７年ぶりに徳之島地区保育連合会に加入し，研修会にも参加しています。また，月平均20～21日勤務とし，給料は7月から月1,000円の増額となりました。

施設改善としては，阿三へき地保育所には冷房（クーラー）を設置し，喜念へき地保育所は，前庭前面に芝生を張り，古里へき地保育所は，トイレの改修を行いました。

新看板に掛替えました。（喜念へき地保育所）

でこぼこした庭を整地し芝生を張りました。（喜念へき地保育所）

トイレを改修しました。（古里へき地保育所）

エアコンを設置しました。（阿三へき地保育所）

インタビュー者：永岡　良一議員

（一社）徳之島観光連盟　理事
（前会長）浜口　正仁さん

問.観光連盟は、日頃どのような活動を行っていますか。

観光連盟の会員数は，年々増加して現在は3町で１５４の会員で活動を行っており，徳之島の観光振興という目的のもと，理事や事務局，島コーディネーター・物産コーディネーターを中心に次のような活動を行っています。

	（島内）	交通	（島外）
（観光）	①受入体制強化	←　③直行便・ＬＣＣ等	②誘客活動
（物産）	④販売促進		

①受入れ体制強化（島内）：観光客等への島内観光の情報提供と強化，あまみシマ博覧会の開催，世界自然遺産登録の推進活動等を行っています。（観光客等からの観光連盟の窓口への問合せは5年前と比べて倍増し，現在では年間5,000件を超えるほど，徳之島への関心は高くなっています。）
②誘客活動（島外）：旅行会社等への徳之島の広報，関東等での観光展への参加等を行っています。
③直行便やＬＣＣの誘致活動：島外から島内へ観光客が多く来て頂けるように，活動を行っています。（現在は，地方創生型ＬＣＣ「エア奄美」の就航支援活動を積極的に行っています。）
④物産の販売促進(島内外)：島外での物産展の開催，農商工連携の物産事業者のサポート，販売戦略会議の開催等を行っています。

問.今後、徳之島伊仙町をどのようにアピールしていきますか。

徳之島は，本年3月の奄美群島国立公園指定，来年には，国内5番目の世界自然遺産登録も予定されています。また，数百億円の経済波及効果が期待されるＮＨＫの大河ドラマでは，来年は徳之島にゆかりのある西郷隆盛が主人公の「西郷どん」の放映も決定しています。これらを好機として，従来からの島の文化である闘牛や食文化等を含めた全ての素晴らしさを島内外の多くの方々に発信し，知って頂きたいと考えています。

問.伊仙町に期待すること、または改善した方がよいと思うこと、そして要望等を聞かせてください。

世界自然遺産の先進地「屋久島」は，遺産登録前に比べて3倍以上の観光客が訪れるとともに，遺産登録前は減少の一途だった人口が遺産登録を機に人口減少に歯止めがかかっています。これほど，世界自然遺産登録は，観光客増加という効果だけでなく，この島にとって世紀に一度の地域の維持発展に大きな力となることを，島民全体で共有しなければなりません。そのためには，リピーター客を増やす等，全島的な「観光振興」活動が必要です。この機会に，県，３町行政と民間の観光連盟等で人的・物的資源を集中した一元化した組織を立ち上げ，「徳之島観光振興計画（仮称）」を策定し，それを一つひとつ具体化し，徳之島の発展に繋げる必要があると考えます。また，町議会においては，島内観光振興の費用捻出のためにも，町の拠出金について厳しくその費用対効果を検証する必要もあるかと思います。国内の旅行消費額約１５兆円市場の1,000分の１（150億円）でも徳之島に呼び寄せることができれば，サトウキビ産業に匹敵する経済効果となります。自然があり，文化があり，人々が豊かに暮らせる島として，この徳之島を後世に残していきたいものです。

徳之島3カ町議会議員連絡協議会における奉仕作業

去る4月7日（金）に開催されました、「第50回戦艦大和を旗艦とする戦没将士慰霊祭」を前に、会場となる犬田布岬において、4月4日（火）清掃作業を行いました。今後とも三カ町一体となり、この活動を継続してまいりたいと思います。

議会の動き

平成２９年第１回伊仙町議会定例会における諸般の報告（議長の動静）
動静期間：平成２８年第４回定例会（１２月８日）以降の分

１２月

- １０日　年末特別警戒・交通事故防止運動出発式　**徳之島警察署**
- １２日　徳野教授との意見交換　**伊仙町役場**
- １３日　定住促進住宅阿三団地安全祈願祭　**阿三**
- ２３日　阿三コミュニティーサロン開所式　**ほーらい館**

１月

- ２日　成人式　**ほーらい館**
- ４日　消防出初式　**伊仙中学校**
- ５日　定住促進住宅阿権団地安全祈願祭　**阿権**
- １５日　伊仙町商工会スタンプ会抽選会　**ほーらい館**
- １７日　正副議長研修会　**奄美市**
- １９日　平成２９年第１回臨時会・全員協議会　**議場・委員会室**
- ２０日　徳之島３ヵ町議会議員連絡協議会役員会　**徳之島町**
- ２２日　新春書初め席書大会　**伊仙町総合体育館**
- ２８日　徳之島馬鈴薯「春一番」出発式　**天城町**
  平成２９年徳之島観光連盟新年会　**徳之島町**
- ３０日　県知事との意見交換会　**鹿児島県庁**
- ３１日　鹿児島県町村議会議員研修会　**鹿児島市**

２月

- １日　徳之島３ヵ町議会議員連絡協議会役員研修会　**屋久島町**
- ４日　天城町総合防災拠点施設落成記念式典　**天城町**
- ６日　春植え出発式　**ほーらい館**
- １０日　徳之島３ヵ町議会議員大会　**徳之島町**
- １２日　行ってみたい徳之島シンポジューム　**東京都**
- １４日　鹿児島県後期高齢者医療広域連合議会　**鹿児島市**
- １９日　第５回徳之島観光物産フェアＩＮ東京　**東京都**
- ２１日　鹿児島県町村議長会総会　**鹿児島市**
- ２７日　鹿児島県保健福祉部訪問（慰霊祭・ハブ対策等の要望活動）　鹿児島市
- ２８日　大島郡町村議長会・市町村長合同会　奄美市

３月

- １日　議会運営委員会　**委員会室**
- ７日　平成２９年第１回定例会　**議場**

※　掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

編集後記

町民の皆様、毎日のお仕事お疲れ様です。

徳之島の基幹作物である「さとうきび」の平成28～29年期産は、台風等、気象災害の影響も受けず大豊作でした。加えて、バレイショや子牛価格も高値を維持、農家のとっては営農意欲が増大し、農業経営にも「夢と希望」が持てたのではないでしょうか。

さて、今年3月には、奄美群島が国内34番目となる国立公園として指定され、来年夏に予定の「奄美・琉球諸島」の世界自然遺産登録にも拍車が掛かり、現実味を帯びて参りました。この事を踏まえ、世界自然遺産の可能性を更に大きくする為には、官民一体となった希少動植物など生態系の保護や、亜熱帯照葉樹林を含む海岸線などの美しい自然を守る取組みとして、空き缶のポイ捨て・ゴミの不法投棄の根絶など強力に推し進める必要があります。

これらを見据えて幸いな事に、格安航空会社「バニラエア」が関西～奄美直行便を3月より就航させ、また、来年夏頃には、「ＪＡＣ」が徳之島～沖縄間（沖永良部経由）の新規路線を発表するなど、観光客を含めた交流人口の拡大には追い風が吹き、未来永劫に亘って画期的な時代が訪れるものと思われます。

そして先人達が残してくれたこの素晴らしい自然や島唄・島口・闘牛等の伝統文化を適宜情報発信し、誰もが行ってみたい魅力ある島に築きあげるべく町民の皆様方の温かいご理解とご協力を求めながら編集後記とさせて戴きます。

（文責　牧　徳久）

議会広報編集委員会
委員長　牧　徳久
副委員長　岡林　剛也
委員　福留　達也
委員　平　博人
委員　永岡　良一